



2019年2月14日

## SaloneSatellite 2019 / サローネサテリテ2019 FOOD as a DESIGN OBJECT / 「食」がデザインオブジェクト

才能ある若きデザイナーたちの登竜門、サローネサテリテは第22回を迎えます。今年「食」をテーマにデザイン技術が融合しうる伝統的な職人技を見出し、未来の食の問題点を定義します。

個性的なデザインを通して多くの人とコミュニケーションし世に出たいと望むクリエイティブな若きデザイナーたちが集結します。彼らはサローネサテリテが21年間輩出してきた才能が詰まった世代です。それは家具製品の美しさと機能性を兼ね備えた新鮮な息吹です。今日、ここから巣立った彼らの多くは未来を見据えて競い合う有名家具・デザイン会社とすでに多くのコラボレーションをしています。4月9日から14日に開催されるミラノサローネ国際家具見本市と同時開催されるサローネサテリテは、才能のスカウトとしての役割と、未来のデザインについての考察、反省、および探求のきっかけとしての役割を担います。

ロー・フィエラミラノのホール22、24に約550人の出展者が9,984㎡を占有し展示します。Cargo 5 からの入場は会期中通して入場無料、一般開放しています。

今年デザインと食の関係に焦点を当て、「**FOOD as a DESIGN OBJECT**」 / 『**「食」がデザインオブジェクト**』をスローガンに掲げて、今や必要とされている**世界的な食改革**を促します。**デザインと技術、伝統が組み合わせたり、あらゆるレベルで食糧システムに影響を与える気候変動から、資源の不足、食料生産と消費の不可欠な多様化まで、将来の課題**を取り上げます。今日、私たちは食糧生産、包装、流通、消費および処分の方法の再考を余儀なくされています。世界中から集まったサローネサテリテの若い主人公たちが、**前衛的なビジョン、アイデア、プロジェクト、そしてオリジナルへの貢献**という形で答えと解決策を見出せることを願っています。実験と記憶の狭間に架空の道筋をつけるというアイデアで、新しい形のカトラリー、食器やキッチン環境にとどまらず、異例の食事方法や、新しい制作ツールも登場します。



ミケッタパンは、食というテーマのシンボルでもあり、ミラノの街へのオマージュも兼ねたロンバルディアのパンで、5大陸から5つの異なる小麦で作られ、卓上に新たな繁栄と健康が生まれることを祈って用意されます。サローネサテリテとのイニシアティブは、1898年にロンバルディア州で設立した非営利団体、**Pane Quotidiano/パーネ・クオティディアーノ** と協力して、日々最も困窮している人たちのための食料を確保します。**4月10日と12日には、特別にミケッタパンが団体を通して様々な協会のオフィスより配布**されます。

今年も**選考委員会**は、サローネサテリテ創設者およびキュレーターの**マルヴァ・グリフィン・ウィルシャー**を筆頭に、デザインやコミュニケーション分野で国際的に著名な人物で構成されています：

ステファン・パークス/ デザイナー  
フランチェスコ・ファッチン/ デザイナー  
フランチェスカ・ランツァヴェッキヤ/ デザイナー  
エミリアーナ・マルティネッリ/ マルティネッリ・ルーチェ社長  
ジャンルカ・モスコーニ/ テクノ&ザノッタ 社長&CEO  
モニカ・ペドラーリ/ ペドラーリ コマーシャル&マーケティングディレクター  
ロレンダ・マスケローニ/ ドムス 記者  
ヴェロニカ・オルジ/ IDFM 記者  
ノーマン・キーツマン/ designjournalist.com 記者  
ジャン・ブランシャー/ 画廊オーナー、タレントスカウト  
リカルド・ベッロ・ディアス/ 建築家  
ベッペ・フィネッシ/ デザインティーチャー&批評家  
パトリツィア・マルファッティ/ ミラノサローネ 広報責任者

マーケットとデザインスター・システムへと若いデザイナーを輩出することで知られるサローネサテリテの非常に高い知名度を維持するため、**選考過程は常に高い競争率を誇っています**。2019年は**特に慎重で厳格**だったため、選考委員会は応募者の多くの落選を余儀なくされ、落選者には、将来的により正しい提案で再びチャレンジすることを奨励しました。



## Salone del Mobile.Milano

選考会を晴れて通過した新しいタレントたちは、過去に既に参加経験のあるデザイナー（最高3回まで参加可能）や、2018年に開催されたモスクワ・サローネサテリテと上海サローネサテリテの受賞者、そしてイタリアと諸外国のデザイン学校、芸術大学の生徒たちと共に2019年のサローネサテリテに参加します。

サローネサテリテ・アワードは今年で10回目を迎え、**需要と供給、起業家とデザイナー、創造性と生産の間**が更に密接な関係を築けるよう促進します。今年のテーマはコンペティションの参加者には既に発表されており、テーマに沿ってプロトタイプを開発するか否かは自由でした。アワードは、**デザイン界の第一線で活躍する国際的に著名な審査委員会**で構成され、初回から委員会に君臨する**パオラ・アントネッリ**（MoMAの建築とデザインのシニアキュレーター、第22回 トリエンナーレ・ディ・ミラノのキュレーター）が主宰し上位3位を選びます。

お問い合わせ先：

Salone del Mobile.Milano Japan Press PR 山本幸 [yuki@milanosalone.com](mailto:yuki@milanosalone.com)

Press info: Marva Griffin Wilshire – Patrizia Malfatti  
[press@salonemilano.it](mailto:press@salonemilano.it)